

万博の開催地はやはり中部地方が最適。名古屋学院大学商学部尾崎都司正教授(経営情報システム)の研究室が、環境などのテーマに照らして愛・地球博(愛知万博)が全国のどの地域で開くのがよいか分析したところ、こんな結果が出た。

尾崎教授は万博が中部で開かれる意義が十分に

万博開催地

「やっぱり中部」

説明されていないとの問題。それぞれ数値化して題意疎に加え、大学が万博開催地の瀬戸市にあるこのところ、万博の意義を証した。調査によると、項目別で中部がトップだったのは住民の多くが自然に接しやすい環境への至近性や、省エネルギー性など

名古屋尾崎教授
関東や中部など全国を八地域に分け、①テーマに合致した環境があるか
②経済波及効果の大きさ
③交通の便
④客数を指標とする国際性
など八つの基準を設

三位。自治体の財政力は関東が一位で、中部は二位と上位に食い込んだ。大企業の本社が集中する関東は、経済効果が偏って計られるなどの特殊要因を考慮して総合評価すると、中部が実質的にトップにのったという。尾崎教授は「万博が目指すのは自然と科学技術が調和した都市づくり。その観点から見ると、中部地方にはその素地が最もバランスよく備わっている」と語っている。

身近な自然、省エネ性評価と総合比較

全国8地域